

収蔵作品展「工芸」
と
「彫刻」
のあいだ



2025
5.24(土)－7.13(日)

[休館日] 月曜日

[開館時間] 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

[観覧料] 無料

[会場] 佐倉市立美術館2階展示室

[主催] 佐倉市立美術館

佐倉市立美術館!...GC

〒285-0023 千葉県佐倉市新町210番地 TEL:043-485-7851

URL: <https://www.city.sakura.lg.jp/section/museum/>

作品奥: [彫刻] 久保浩《坤魁》2017年 第47回日彫展(部分)

手前: [工芸] 津田信夫《隠霧澤毛》1940年(部分)



理想化された人物像は彫刻？



【彫刻】久保 浩
《昔の風、昔の歌》
2000年 第32回日展

「工芸」と「彫刻」のあいだ

「工芸」も「彫刻」もどちらも言葉としては知っているし、みなさんも漠然とイメージがあって、会話の中でこれらの言葉を使用することもあるでしょう。ところが、ある作品をさして「これは彫刻作品ですか？ 工芸作品ですか？」と問われると、意外に答えられないものです。

一方で、多くの美術館では、作品を保管する際に整理のために「彫刻」や「工芸」といったジャンル分けをしています。当館も作品を管理するのにジャンル分けをしています。その分類は、はたしてどれだけみなさんから共感を得られるのでしょうか？

そんな疑問から、本展では、当館の収蔵作品の中から「工芸」とも「彫刻」とも捉えられそうな作品を選び、当館の分類とともに紹介します。それらの作品を手がかりに、ふだん漠然とイメージしている「工芸」と「彫刻」について考えてみたいと思います。

あわせて、令和6年度に当館が新たに収蔵した作品を紹介します。

神像だけど、工芸？



【工芸】堀柳女
《木花開耶姫》
1953年 第9回日展

工芸作家だけど彫刻作品？



【彫刻】香取秀真
《金子うし塑像》
1897年

用途があれば工芸？



【工芸】鈴木治平
《燭》1979年

空想上の動物モチーフは工芸？



【工芸】津田信夫
《捲水済旱》
1941年以前

新収蔵作品



小林健樹《ふくろうのいる樹》1981年



【工芸】香取秀真
《馬香鑪》1923年



【工芸】堀柳女
《きぬぎぬ(古代裂配色)》
1938年

【工芸】和田的
《Energy Tree》
2024年



担当学芸員によるギャラリートーク

5月31日(土)・7月12日(土)各日14時～
場所:2階展示室 参加費等:無料・申し込み不要

ミテハナ鑑賞会

展示室内で、鑑賞コミュニケーションのミテハナさんと一緒にお話ししながら展示作品を鑑賞します。

5月25日(日)14時から約1時間
開始10分前に美術館1階の階段前に集合してください。

場所:2階展示室 参加費:無料
定員:10名(予約不要・先着順) 協力:ミテ・ハナソウ佐倉

ミュージアム・コンサート【毎月第3日曜日】

6月15日(日)14時～ 出演:吉澤実佑(マリンバ)
場所:1階ロビー 参加費等:無料・申し込み不要
協力:佐倉楽友協会 ※出演者は変更となる場合があります。

【アクセス】

【電車】

- 京成佐倉駅南口より徒歩8分、または、「JR佐倉駅」方面行きバスで「佐倉市立美術館」下車すぐ。
- JR佐倉駅北口より徒歩20分、または、「京成佐倉駅」方面行きバスで「二番町」下車すぐ。

【車】

- 東関東自動車道佐倉I.C.より約5km・15分、「夢咲くら館」駐車場等をご利用ください。(台数に限りがあるため、なるべく公共交通機関をご利用ください。)



佐倉市立美術館!...6C

〒285-0023 千葉県佐倉市新町210番地 TEL:043-485-7851
URL: <https://www.city.sakura.lg.jp/section/museum/>

